

# 総合計画における成果指標について

資料2-1

No.	政策番号	政策名	施策計画番号	施策計画	成果指標	第1回総合政策審議会における指標に関する意見	検 討 内 容			担当部課
							補助指標の追加	補助指標を検討した理由や改善策	「無」の場合はその理由	
1	6	子どもたちの学びの充実	3	学校給食の充実	品目ベースの地産地消率（天草産食材の品目）	審議会での意見は特になし	有	【検討理由】 令和3年3月に作成された国の「第4次食育推進基本計画」では、「学校給食における地産産物・国産食材を使用する割合を増やす」という目標について、①設定値や実績値の単位を食材数から金額に見直し、②金額ベースでの割合を令和元年度から維持・向上した都道府県の割合を90%以上とすることが目標として掲げられている。 様々な角度から分析を行うため、「 <u>金額ベースの地産地消率(出典:市独自調査)</u> 」を補助的な指標として設定したいと考えている。	—	教育部 学校給食課
2	14	商工業の振興と多様な働く場の創造	2	企業誘致やリスクキングによる多様な働き方の創出	第2新卒者の地元就職者数	・第2新卒者の地元就職者数は指標として重要だけれども、ハローワークでもなかなか把握できないような数値であるならば、他に指標を設定してもいいのではないかと。 例えば、出身者たちのネットワークを作って、そこに第2新卒者情報がきちんと行き渡っているかどうかなど。	有	【検討理由】 これまでの成果指標では対象に管外（島外）登録者も含まれており、管外登録者数の動向（管外への就職者数も含んでいるなど）により指標も不規則となる傾向があったため、対象を「管内登録者数」に絞り、「管内への就職者数」を把握するほか、その推移や要因を確認・分析していきたい。 ただし、「天草管内への就職者数」を把握できるのはR5年度からであるため、年度ごと（R5年度とR6年度）の比較分析ができるのは、R7年度からとなることから、それまでの間、「 <u>第2新卒者の人口増減率※(出典:市独自調査)</u> 」を補助的な指標として設定したいと考えている。 ※年度末の19歳～27歳までの人口を基に算出する。	—	経済部 産業政策課
3	16	魅力ある観光の創造	1	地域資源を生かし周遊・滞在・交流につなげる「魅力づくり」	宿泊客観光消費額	・指標の数値について、2年前の数値を持ってきてもやり方の改善等の議論ができないので、直近の数値を出してほしい。	無	【改善策】 審議会等で説明する際には、直近の数値を報告することとしたい。直近の数値の確定値が出せない場合は、速報値を報告したいと考えている。	—	観光文化部 観光振興課
4	16	魅力ある観光の創造	3	ニーズを把握し、誘客へつなげる「観光プロモーション」	宿泊客数	・指標の数値について、2年前の数値を持ってきてもやり方の改善等の議論ができないので、直近の数値を出してほしい。	無	【改善策】 審議会等で説明する際には、直近の数値を報告することとしたい。直近の数値の確定値が出せない場合は、速報値を報告したいと考えている。	—	観光文化部 観光振興課
5	17	健康寿命の延伸	3	保健事業と介護予防等の一体的な取り組みの推進	平均自立期間（健康寿命）	・指標として、毎年大きくは変わらない平均寿命という最終的なアウトカムを設定していても、なかなか改善が見えないと思うので、変化が見える指標を別に設定した方がいいのではないかと。	有	【検討理由】 健康寿命延伸に向けて健診受診率向上、生活習慣病の予防、重症化予防およびフレイル予防の重要性を普及啓発する機会として健康教室を実施していることから、より多くの参加があることで成果指標達成の効果が期待できるため、「 <u>健康教室参加者数(出典:市独自調査)</u> 」を補助的な指標として設定したいと考えている。 ・R4～6年度：モデル事業として2地域（栖本・河浦）で実施 ・R7年度～：市内全域で実施予定	—	市民生活部 国保年金課
6	19	ともに支え合う地域福祉の充実	1	安心して地域で暮らせる環境づくり	ボランティアの登録団体数	・事務局としては、ボランティアする人、ボランティア団体数などを把握することは難しいとのことだが、市として把握が難しい数値を指標として設定しておくことは問題ないかと。 ・市として把握できる数値等を設定することを考えてみてはどうか。	無	—	「政策19 ともに支え合う地域福祉の充実／施策計画」安心して地域で暮らせる環境づくりについては、3つの成果指標を設定しているが、主となる指標は市政アンケートの「地域福祉に関するボランティアや支援活動に参加したことがある市民の割合」であり、「ボランティアの登録団体数」や「ボランティアの登録人数」については、個人や団体それぞれの判断に基づくため補助的な指標として捉えている。 なお、天草市社会福祉協議会内に「天草市ボランティア・市民活動支援センター」が設置され、社協各支所において、ボランティアを行う個人や団体の登録や名簿の管理をしているが、個人及び団体数や活動内容にバラツキが見られ、登録基準も明確に決まっていない状況である。 そのため、登録基準を明確にしたうえで、市や天草市社会福祉協議会の広報誌やホームページ等を活用して、地域間のバラつきを解消するような登録活動を推進するとともに、ボランティアを必要とする市民とのマッチング機能の強化を最優先に取り組むこととする。 その結果、一定程度の登録数に達した時点において、補助指標の追加等を検討していきたいと考えている。	健康福祉部 健康福祉政策課
7	25	良好なまちなみの形成	1	まちなみの形成	良好なまちなみの景観が形成されていると感じている市民の割合	・まちなみの形成には複数の取り組みが不可欠であるので、適当な指標を設定することは難しいかもしれないが、少なくとも、事務局が挑戦したことが確認できる、また外部にも説明できる指標を持っている方がいいのではないかとと思うので、検討してほしい。 ・アンケート調査において、「感じない」と判断した理由を把握することが重要ではないかと。	無	—	「政策25」良好なまちなみの形成は、施策計画による都市計画道路の整備促進・景観保全・公園の維持管理・花咲プロジェクトを柱とし、関連する「政策24」や「政策27」等の関連する施策が進捗することにより、市内全域において【政策25-1】良好なまちなみの景観が形成されていると感じる市民の割合が上がっていくものと考えている。 このことから、確認する方法としては、市政アンケートによる「感じている」「どちらかといえば感じている」と答えた方の割合が最も有効と考えている。 一方、目標達成のためには「どちらかといえば感じない」「感じていない」と考えている方々の意見も大変重要と認識しており、「感じていない」と回答した理由を把握するための手法を検討する。	建設部 都市計画課